

平成三十年度 大学院人文科学府修士課程第2期入学試験問題
(朝鮮中文学)

【問題1】

次の史料①を書き下し、史料②を現代日本語に訳しなさい。なお、解答にあたって漢字は新字体を使用すること。

〔史料①〕

※ウェブ公開版では著作権保護のため問題文を削除。左記の出典より抜粋。

(出典：『朝鮮世宗実録』巻一三・三年八月戊戌条)

〔史料②〕

※ウェブ公開版では著作権保護のため問題文を削除。左記の出典より抜粋。

(出典：『朝鮮仁祖実録』巻三・元年閏一〇月甲寅条)

【問題2】

朝鮮史研究のテーマとして、異なる言語間のコミュニケーションをめぐる諸問題をとりあげることにはどのような意義があるか。自分の考えを述べなさい。

【問題3】

次の項目①～⑩より三つを選択して解説しなさい。なお選択した項目番号を明記すること。

- ① 辛未洋擾
- ② 碧瀾渡
- ③ 『増正交隣志』
- ④ 骨品制
- ⑤ 農村振興運動
- ⑥ 濟州島四・三事件
- ⑦ 宣惠庁
- ⑧ 朴憲永
- ⑨ 恭愍王
- ⑩ 弓裔

【問題4】

次の朝鮮語文を現代日本語に訳しなさい。

※ウェブ公開版では著作権保護のため問題文を削除。下記の出典より抜粋。

出典：김기봉 『‘역사란 무엇인가’를 넘어서』 (푸른역사, 2000年)